

お正月 かなた

2012



vol.109

2



はいっポーズ!

《端野地区・豊実》

五十嵐^{けん}里香^とさんと^{あすか}拳人^{かける}くん・飛鳥^{けん}くん・^あ駆^あくん
心愛^あちゃん

(紹介は2ページです)

特集

• TPPでどうなる?
日本の農業・経済・暮らし
もう一度じっくり考えよう



静かに 出番を待つタマネギ

季節の薫り



消費地の玉葱需要が一番多い冬期間の出荷に向けて、各地区の選果場ではあわたたくし選果作業が行われている。

端野地区事務所の選果場では、1日平均1万ケース（20ヶ詰め箱）の玉葱が毎日、都道府県の市場に出荷されている。同選果場の玉葱低温冷蔵倉庫には、5段積みされた約1万1千基の大コンが1℃の温度で管理され、今かと出荷の出番を待っている。

夏場の高温・干ばつの影響を受け、やや小ぶりだが、外品も少なく、表皮もキラキラと輝き品質は上々だ。当JAの7ヶ所の選果場とも、今年の4月末頃まで選果作業が続けられ、和洋中の料理に欠かすことができない“きたみらい産のおいしい玉葱”が全国の消費者に届けられる。



【端野地区事務所の低温冷蔵倉庫内の玉葱をチェックする販売企画部組織振興東グループの竹次隆主査（写真は1月24日撮影）。なお、23年産の玉葱生産量は216,600ヶを見込んでいます。】

表紙紹介

ひっぱりだこの心愛ちゃん

五十嵐さん宅に着き、「こんにちは」と茶の間にお邪魔すると、9人の大家族が笑顔で迎えてくれました。

長男の拳くんは小5、次男の飛鳥くんは小3、3男の駆くんは小1。冬休みも終えた今、毎日、スクールバスで北見市立端野小学校に通学。そして、野球少年団や体操クラブで心身を鍛えている元気な男の子3兄弟を始め、家族全員が待ち望んでいた女の子「心愛ちゃん」が12月の12日に誕生しました。

1歳を過ぎた心愛ちゃん、伝え歩きもでき、好き嫌いもなく健康そのものです。テレビに映る子どもたちが踊っている、いっしょに体を揺すりながら自分の感情を表しています。チョッと人見知りもする心愛ちゃんの仲良しは、次男の飛鳥くん。飛鳥くんと遊ぶと笑顔がいっぱい。

お父さんの亨さんも「心愛、心愛」とべったり状態です。この様に家族全員に愛されている心愛ちゃん。ひっぱりだこの人気者です。元気に遊ぶ4人の子どもを見つめながら、お母さんの里香さんは「健康で元気が何よりですが、人に対して思いやりのある人に育ってほしい」と話してくれました。



【ご家族紹介】

左から～次男の飛鳥くん(9)とお父さんの亨さん(38)、ひいおばあちゃんの節子さん(88)、お母さんの里香さん(31)と長女の心愛ちゃん(1)、おじいちゃんの優さん(64)と三男の駆くん(7)、長男の拳くん(11)、おばあちゃんの敏子さん(64)。(有)五十嵐農場では、水稻・小麦・てん菜・シソ・馬鈴薯(加工も含む)など約35種作付けしています。



もくじ CONTENTS

特集①

TPPはどうなる？

日本の農業、経済、暮らし

もう一度じっくり考えよう

4

○季節の薫り……………2

○表紙紹介……………2

「ひっぱりだこの心愛ちゃん」

○JAきたみらい

ホットライン東西南北……………6

○ほのぼのの広場……………10

・きたみらいのホープさん

・思い出の写真

・マイティスト

「カーリング」

・私のパートナー

・わが家のアイドル

・大きくなったら

・おらがまちのおしどり夫婦

・まちがいさがし

・読者の声

○JAからのお知らせ……………14

○おひさまサラダクッキング……………18

「韓国風巻きずし」

「アサリとニラのスープ」

TPPでどうなる？

日本の **農業** **経済** **暮らし**

もう一度じっくり考えよう

昨年3月の東日本大震災以降、経済界などから「復興のためにも早期参加が必要」と、TPP（環太平洋経済連携協定）交渉への参加を求める声が再び高まりました。また同年11月11日には、ホノルルで開かれたAPEC（アジア太平洋経済協力会議）で野田総理大臣がTPP交渉への協議入りを表明し、本年の1月から2月にかけて、TPP交渉参加国との事前協議を始めることを明らかにしました。TPP交渉への参加は、被災地の現状や農家の心情を無視するだけでなく、国民の生活や国としての在り方を一変させかねない大きな問題です。いま一度、わが国の在り方や今後の農業、私たちの生活について考えてみたいと思います。

TPPがもたらすものは 経済成長ではなく日本経済のさらなる悪化

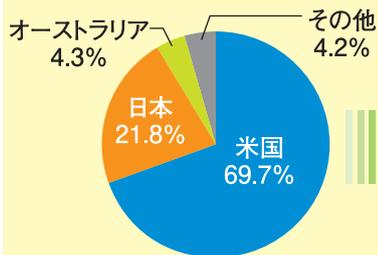
TPP交渉参加国のうち、日本の輸出先となり得る市場は米国市場のみです。しかし米国は、自国の輸出に依存した世界の経済成長を拒否しており、逆に米国からの輸出を増加させ、国内雇用を創出しようとしています。

また日本では、為替リスクを回避するため、すでに多くの大企業が海外移転による現地生産を進めて

います。その一方で、海外移転できない中小企業は、関税撤廃による安価な製品の大量輸入により、現在以上に厳しい価格競争にさらされることとなります。

その結果、日本経済を長年苦しめているデフレの悪化、賃金引き下げなど、日本経済のさらなる悪化をもたらされることが懸念されます。

TPP交渉参加国9カ国に日本を加えた10カ国の内需規模の比較(2007年)



出典：WDI2010(IMF)

- TPP参加9カ国に日本を加えたGDPシェアは、日米で90%以上であり、日米以外は、輸出依存度の高い経済規模国のみ
- オバマ大統領は、2010年の一般教書演説において今後5年間で輸出を倍増すると表明するとともに、グローバル・インバランスの問題の原因である米国の過剰消費・貿易赤字の是正に乗り出す意思を表明。
- ➡ TPPで増えるのは日本の輸出ではなく、米国からの輸入

「TPPに参加しても例外が認められる」のは極めて困難

「TPPに参加しても、コメなどを関税撤廃の例外としたり、一定の経過期間を設けることが可能」との主張がありますが、TPP交渉に参加する米国など農産物輸出国は、こうした例外扱いを否定しています。

現在のP4協定において例外化されているものは、宗教上の理由などの特別なものに限られていることから、例外措置が可能との根拠のない見通しを持ってTPPへ参加することは極めて危険です。

平成23年5月12日 米国下院農業委員会 公聴会

クロフォード下院議員
(共和党:アーカンソー州)

- 韓国とのFTAにおいてコメを例外としたことは悪い前例であり、TPPにおいては米国産のコメの市場アクセス拡大のため、いかなる例外も認めるべきではない。

カーク米国通商代表

- TPP交渉において、われわれは全ての参加国に対して全ての品目を自由化交渉の対象とするよう求めている。韓国のコメ市場は非常に保護主義的であり、米国はさらなる市場開放に向けた圧力をかけ続ける。

平成23年5月24日 米国・アジア太平洋協会

ニュージーランドのグローサー貿易大臣

- TPPにおいては、全ての品目が関税撤廃の対象であり、コメや砂糖を例外扱いするべきではない。

TPPに参加しても 日本に不利なルールを丸飲みさせられるだけ

TPPに参加して日本に有利なルールづくりをする必要があるとの主張がなされますが、最終的には、**という形になるだけで、わが国にはマイナスにしかなりません。**
 米国が中心となって策定されたルールを強要される

ウィキリークスに掲載されたニュージーランド外交貿易省マーク・シンクレアTPP首席交渉官の発言（米国大使館公電より）

「TPPが将来のアジア太平洋の通商統合に向けた基盤である。もし、**当初のTPP交渉8カ国でゴールド・スタンダード（絶対基準）に合意できれば、日本、韓国その他の国を押しつぶすことができる。それが長期的な目標だ。**」

「米国との自由貿易協定は長年の目標であったが、広く一般に信じられているように国内産業にとってエルドラド（理想郷）となることはあり得ない」

出典／日本農業新聞記事より抜粋

貿易などに関する米国から日本への要求事項

日米経済調和対話（平成23年2月）

- ① 郵政（米国企業との対等な競争条件の確立）
- ② 保険（米国企業との対等な競争条件の確立）
- ③ 運輸・流通・エネルギー（自動車の基準緩和）
- ④ 農業関連課題（残留農薬問題・食品添加物）
- ⑤ 医療品・医療機器

その他5項目

これら以外にも輸入牛肉の月例制限の撤廃など、さまざまな要求を突きつけられる可能性

食品安全性に与える影響

- TPP参加により、輸入肉用牛の月齢制限が緩和され、牛海綿状脳性（BSE）リスクのある牛肉が日本国内に入ってくる危険があります。
- 現在日本で禁止されているポストハーベスト農薬（収穫後使用農薬）が使用可能となり、さらには、有機農産物の残留農薬規制を緩和させられることが想定されます。また、食品添加物については、日本では認められていないものについても、国際規格で認められているという理由で許可を求められる懸念があります。
- 遺伝子組み換え食品などの輸入拡大も懸念される上に、遺伝子組み換えである旨の国内表示ルールに対して「貿易障壁」としてルール変更が求められる恐れがあります。

TPPに参加した場合…

BSEリスクの拡大

米国では…

- ◆ 年間出荷肉牛の**1%程度**しか検査していない
 - ◆ BSEの可能性のある「へたり牛（歩けなくなった牛）のうち、**無検査で出荷**されているものもある等の実態にあった。
- ⇒ これらの牛がそのまま出荷されてくる可能性



ポストハーベスト農薬が使用可能に

残留農薬規制の緩和

食品添加物の認可拡大

食の安心・安全が脅かされる

出典：関岡英之「国家の存亡」(PHP新書)をもとに全中作成

農業以外の分野に与える影響

- TPPの作業部会では、農畜産物や工業製品などの関税撤廃（下図）だけでなく、金融・保険・医療などのサービスの自由化や、植物検疫・公共事業の入札制度などの国内制度の規制緩和・撤廃など、幅広い分野が交渉対象として議論されています。
- TPPに参加することによって、一部の工業製品の輸入拡大による経済的なメリットと引き換えに、わが国の仕組みや基準が一変し、私たちの将来の暮らしに大きな影響が及ぼされます。

市場アクセス（農業）

政府調達

市場アクセス（工業）

原産地規則

サービス（クロスボーダー）

検疫等

サービス（電気通信）

投資

知的財産権

環境

サービス（金融）

労働

TPP参加

われわれの社会・生活が一変

食の安全・安心の仕組みが崩壊

- ・ 米国产牛肉の輸入制限の緩和
- ・ 農薬・食品添加物等の基準緩和

労働環境が激変

- ・ 外国人労働力により日本人の雇用が喪失

地域医療が崩壊

- ・ 労働市場開放により地域医療が崩壊

地域経済へ大打撃

- ・ 公共事業の入札が海外企業にも開放され、地元企業はコストの安い海外企業と競争

ほか、合計24分野

出典：内閣官房資料をもとに全中作成

手づくり料理と ゲームで部員間交流

～冬期研修会に
部員16人が参加～

AINONAI

相内



▲中川運営委員長(左)も参加して行われた輪投げ大会

女性部相内支部(吉田まゆみ支部長)は1月19日、地区事務所まで冬期研修会を行い、部員16人が参加しました。

午前中は、部員が持ち寄った野菜などを食材にして、参加者全員でアイデアいっぱい「しもんちり」
「ポテトサラダ」「生春巻き」「鶏の

オープン焼き」などの料理を作りま
した。美味しく出来上がった料理は、
中川地区運営委員長やJA職員と共に、懇談をしながらいただきました。

午後からは、ビンゴゲームや輪投げ大会などを行い、部員間の交流を深めました。



▼湯気が立ち上がる中、味噌作りに励む部員のみなさん



OKETO

置戸

手作り味噌は 格別な味

～おいしい味噌を期待し
170^キ仕込む～

女性部置戸支部(斉藤のり子支部長)は1月23日と24日の2日間、置戸町森林工芸館で「減塩手作り味噌講習会」を開催しました。恒例となつた講習会には部員7人が参加し、約170^キの味噌を仕込みました。

初日に原料の大豆を洗い、水に浸けて十分に水を吸収させた大豆は、翌日に圧力鍋で1時間30分ほど煮つ

め、煮あがった大豆を機械ですり潰します。その後、冷ましてから麹、塩、種水を加え、慣れた手つきで樽に詰めていきました。

参加した部員は「作るのは大変だけど、自分たちで作った味噌は格別な味がします」と仕込みを終えて、笑顔で話してくれました。

混成チームで ボーリング大会

～支部間交流に
両支部から24人参加～



▲きれいなフォームで投球する温根湯支部の仁義さん

青年部温根湯支部(児玉渉支部長)は1月11日、市内のボーリング場で相内支部(森谷祐樹支部長)とボーリング大会を開き、支部間交流を行いました。温根湯支部11人、相内支部13人の総勢24人が参加しての大会となりました。

両支部の部員が交わった6チームを編成し、レーン対抗戦で順位を競いました。ボールを上手にコントロール

ール出来ずガーターが続出。しかし、スベアやストライクが出ると歓声が上がリ、ハイタッチで迎えるほどのとした姿を見ることが出来ました。

競技終了後は、焼き肉を囲んで懇親会を行い、普段、顔を合わすことが少ない両支部の部員は、ボーリングや春の営農準備などの会話で盛り上がりました。

東西

▼ピラティスに挑戦する部員のみなさん



KAMITOKORO



ピラティスで 楽しく健康体に

～痛い！という声の中
心地良い汗が～

女性部上常呂支部(大林明美支部長)は1月18日、上常呂コミュニティプラザでピラティス講習会を行い、部員7人が参加しました。

農閑期の運動不足解消を目的に、平成21年度から新たに取組んでいる講習会で、毎年テーマを変えて12月から3回にわたって行っている講習会に、延15人の部員が参加。

講師にFTP認定マットピラティスベーシックインストラクターの三浦裕利子さんを招き、肩こりや腰痛、冷え性から血行不良に効くストレッチなどを行いました。

受講した部員は、四苦八苦ながらも心地良い汗を流し、充実した時間を過ごしました。

自分のペースで 心身リフレッシュ

～日頃の疲れを
体操で解消～



▲「痛い！」という声が続出したリフレッシュ体操

女性部北見支部（黒須倫子支部長）は1月18日、JAセンター事務所でのリフレッシュ体操を行い、部員20人が参加しました。
ボディヒーリングインストラクターの横尾早苗さんを講師に迎え、腰痛と肩こり改善のためのリフレッシュ体操を行いました。腰や肩は日頃、疲れの溜まりやすい箇所とあつ

て、「これ以上伸びない」と悲痛の声も聞かれましたが、講師の「無理せず自分のペースで」という指導に参加者はリラックスして体操に取り組んでいました。さらに「気になる箇所はどこですか」と参加者に問い掛けるなど、有意義な2時間を過ごして日頃の運動不足を解消しました。



▼「意義ある懇談会に」と挨拶する岡崎支部長（右）



KUNNEPPU



農業青年や女性 JA 役職員と懇談

～外郭団体の
幹部などが参加～

青年部訓子府支部（岡崎和久支部長）は1月16日、地区事務所懇談会を開きました。JA 役職員と意見交換を行い、JA を広く知ることによって若年層や女性層のJA 離れを防ぐことを目的にした懇談会は、2005年から始まり、今年で8回目。当日は、役員や同支部の女性部とフレミズの役員など27人が出席しました。同地区の須河徹運営委員長代理は「農業・農協経営の中枢を担う皆さんとの懇談は極めて重要」と

挨拶。岡崎支部長は「農業情勢やJA 事業を正しく理解できる懇談会にしたい」と参加者に呼び掛けました。JA の概要や機構、各事業部門などを職員が説明した後、参加者から TPP 問題、女性理事の登用、ふれあいグループの機能性などの質問が出されました。参加した青年部員は「TPP は地域農業の崩壊につながるので、農業外の友人にも理解を呼び掛けたい」と話していました。

決算書作成に 真剣な面持ち

～パソコン簿記研修会に
会員38人が参加～

TANNO



▲真剣な表情でパソコンに向かう会員のみなさん

端野町農業情報研究会（寺崎博会長）は1月19日、地区事務所でのパソコン簿記研修会を開き、会員38人が参加しました。

同研究会は、パソコンを活用し農業経営の改善をしようと平成6年に設立され、各種活動を進める中で、同様な活動を展開している上湧別農業経営研究会と、地域を越えた意見交換も行っています。

農業簿記ソフトの新バージョン8を導入して2年目となります。会員の皆さんは、2月の決算書提出、確定申告と作物別経営分析に向け、マニュアルを片手に真剣な表情でパソコンに向き合っていました。

同研修会は昨年の12月から始まり、2月上旬まで週1回の開催を予定しています。

東西

▼和やかな雰囲気で行われた支部間交流



RUBESHIBE



つるつるリンクで 珍プレー続出

～カーリングで
支部間交流～

青年部留辺薬支部（渡辺琢磨支部長）は1月10日、青年部北見支部（佐藤正人氏部長）との支部間交流を河西カーリング場でカーリングを楽しみました。

留辺薬支部から11人、北見支部から19人が参加。1チーム4～5人の支部混成とし、端野の菅原吉和さん他3名から指導を受けました。

参加者のほとんどが、初めての体

験。基礎的なルールなどの説明を受け、「いざ本番」とリンクへ向かいました。寒さと足場が不安定で慣れないリンクの上での試合開始となりましたが、珍プレーや好プレーの続出で歓声が上がっていました。両支部長とも「スポーツを通じて部員間の会話も増え、今後の活動につながる」と話していました。

思い出の写真

この写真は昭和61年頃、長年使い込んできたブロックサイロを撤去する前に、思い出の1枚に納めようとサイロ前で、家族揃って撮影したものです。

このサイロは昭和40年頃に建てたもので、高さは約10m、直径3.6mでコンクリートブロックが25段積みされたものです。当時、3割ほど作付けしていたデントコーンが切り込まれて入る容量でした。奥さんの光子さんは「サイロに入って、切り込まれて来るデントコーンを足で踏み込んでいましたが、だんだん高くなっていくので、チョッと怖かったです」と、当時を懐かしそうに話してくれました。

昭和50年頃から、牛乳の計画生産のスタートと併せて酪農情勢の悪化を踏まえ、5年後にてん菜、馬鈴薯などを取り入れた複合経営に移行。武藤さんは「春の植付けや秋の収穫時は、畑と牛舎の往復で忙しかったけど、辛いとは思わなかった」と話していました。

その後、昭和60年に後継者の一仁さん（現・経営者）が大学卒業後、就農することを機に昭和59年、畑作専業経営に方向転換して現在に至っています。

突然の取材依頼を快く受けてくれた武藤さんは、「久しぶりにアルバムを広げ、1枚1枚の写真で当時にフィードバックでき、とても懐かしく楽しい思いをさせてもらった」と話してくれた言葉に、取材者として心温まる思いをさせていただきました。



端野地区・川向
なおや
菅原 有矢さん(32歳)
間村 直樹さん(32歳)



▲北見市内の河西カーリング場で練習に励む菅原さん(左)と間村さん



きたみらいの
ホープさん

家族揃って 楽しい農業を

訓子府地区・駒里

林 慎也さん(25歳)

慎也さんは、秋小麦・てん菜・種子馬鈴薯・高級菜豆・加工スイートコーンを栽培している林浩幸さん、比呂子さん夫妻の長男で就農して6年目です。

趣味は？

音楽鑑賞です。主としてJポップなどです。

休日はどんな事をしていますか？

J A 青年部活動を始め、訓青協や網青協の役員に関わっているので何かと忙しくゆっくり出来ません。今は、わが町の「さおさおまつり」の雪像作り（滑り台）で大変です。

好きな食べ物は？

アボカドとマグロをユッケ風にして食べるのが好きです。

理想の女性と、結婚はいつ頃までに？

笑顔が素敵な人。結婚ですか？…近いうちに良いお知らせが出来るかな？

農業に取り組んで実感したことは？

この春で就農6年目を迎えますが、毎年続く自然災害が農業経営に大きな影響を及ぼしています。自然と上手に付き合うためにも、作物体系の検討や畑作りが大切と思っています。

農業に対する抱負を

父の足元にも及ばない未熟者ですが、家族揃って楽しい農業経営を取り組めればと考えています。

3月号の「ホープさん」は、J Aきたみらい青年部北見支部の？さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

私の
パートナー



今月号の「私のパートナー」は、「交際している時、家庭を持った2人の将来像を忘れずに、明るい家庭を築きたい」と話してくれた伊藤拓さんと聖子さん夫妻を紹介します。

いつかはイタリアに

訓子府地区・大谷

伊藤 拓さん(28歳)
聖子さん(28歳)

Q ご結婚されたのはいつですか？

平成22年10月31日に入籍しました。

Q 知り合ったキッカケは？

友人が北見市内で企画したハロウィーンパーティー知り合った後、交際を始めました。

Q 初めて合った時の印象は？

拓さん「静かで落ち着いた人だなあ〜(^_^)」
聖子さん「しっかりしているイメージだったので、私よりも年上だと思いました(^_^)」

Q 結婚を決意した大きなポイントは？

「いっしょにいて楽であり、居心地も良かったです。ある時、お互いの家族の会話などで盛り上がり、2人が家庭を持った将来像みたいなものが写ってきたからです」

Q 聖子さんの出身地は？

北見市常呂町の出身で、市内の保育園で先生として働いていました。

Q 子ども何人？

賑やかな家族がいいので3人は欲しいです。

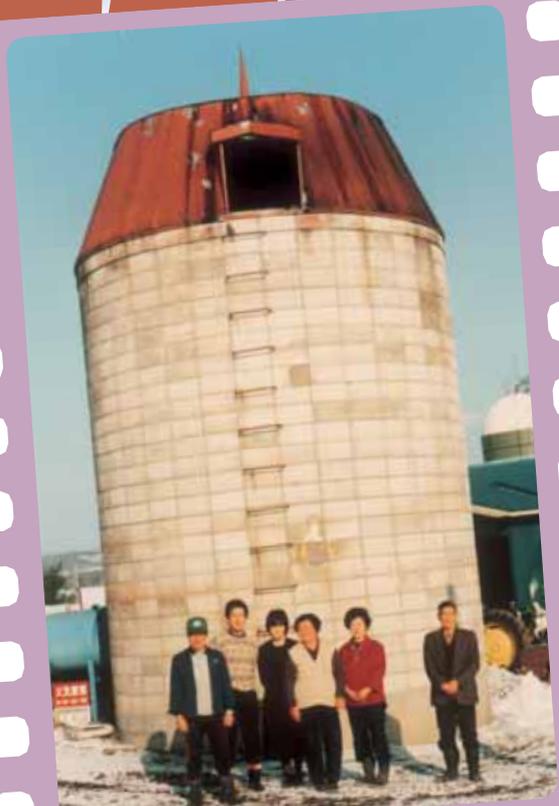
Q どんな家庭を築きたいですか？

明るくて笑顔が絶えない家庭です。

Q 1週間ほど休みが取れたら、どんな事をしてみたいですか？

新婚旅行に行っていないので、いつになるかわかりませんがイタリアに行ってみたいです。

拓さんが抱っこしている赤ちゃんは、昨年の12月1日に誕生した長男の蒼馬くん(2ヶ月)です。



ブロックサイロ



【写真説明】
20数年間、武藤家のシンボルとして立っていたサイロの前での記念写真です。左から武藤さん、一仁さんと妹の厚子さん、おばあちゃんのカネ子さん、奥さんの光子さん、おじいちゃんの三之助さん。

訓子府地区・福野

武藤 繁さん(77歳)

マイテイスト

カーリング

My Taste

菅原さんと間村さんは、小中学校の同級生です。小学校5年生の時、端野町トレーニングセンター横に造られた屋外リンクで子どもたちを対象にした教室に参加したことが、カーリングを始めたきっかけです。

2人は高校や専門学校を卒業し、5~6年間の会社勤めを経て、農業にUターンしたのを機に早速、地元のチームに入りました。その後、2人と同様な農業青年2人が加入し、「自分たちのチームを作ろう!」と「COUNTER SHOT(カウンターショット)」というチームを結成しました。現在のチームメートは8人。その内、7名がUターン就農者で構成され、菅原さんのポジションはサード、間村さんは、ポイントgetterのスキップを担当しています。

カーリングの魅力を「ゲーム展開を冷静に読み取るところ」と話してくれましたが、同時に「農業を営む同世代がスポーツを通じて気軽に話し合え、いろいろな情報交換が出来る」ところに、最大の魅力を感じているようです。

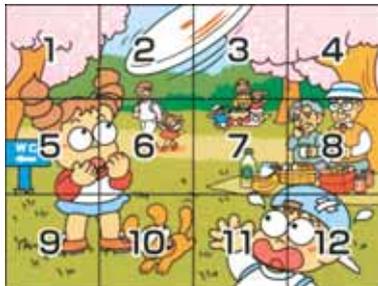
間もなく玉葱播種作業が始まり多忙となりますが、チームはリーグ戦に参加しながら大会に向けて、今日も練習に励んでいます。



まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、日清食品のカップ麺「北の焼きそば・オホーツク塩やきそば」を5個プレゼントします。

新年号クイズの当選者

新年号のクロスワードパズルの答えは「カガミモチ」でした。正解者46名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの西川組合長にお願いしました。

()内は支所名

- ・三上 順子さん(温根湯)・黒川 厚さん(訓子府)
- ・樋口 友恵さん(温根湯)・宮本久美子さん(訓子府)
- ・真野しず子さん(温根湯)・大正寺ヨシエさん(訓子府)
- ・西森 乃彩さん(温根湯)・萩原 裕介さん(相内)
- ・荒 喜代隆さん(留辺蘂)・藤澤ひとみさん(相内)
- ・加藤 成子さん(留辺蘂)・竹田 勝行さん(相内)
- ・杉本正一郎さん(留辺蘂)・斉藤 義市さん(相内)
- ・中尾のぶ子さん(置戸)・浪岡 郁子さん(上常呂)
- ・斉藤さおりさん(置戸)・杉山 幸治さん(北見)
- ・下村マツ子さん(置戸)・井上 竜介さん(北見)
- ・菅野 涼介さん(訓子府)・植松 信行さん(北見)
- ・山内スミエさん(訓子府)・野々下可奈子さん(端野)
- ・遠藤 皆子さん(訓子府)・加藤 和子さん(端野)
- ・岡崎 正晴さん(訓子府)・中野まやかさん(端野)
- ・小野 一夫さん(訓子府)・高橋ヨシ子さん(端野)

以上の方々には、(株)清月のきたみスイーツ「白花桃子(6個入り)」をプレゼントします。

B



あ けましておめでとうございます。子、孫に囲まれ、父母、嫁も健康という幸せ者です。大変感謝しています。

(留辺蘂地区・匿名希望)

お孫さんや子供たちに囲まれ、賑やかなお正月を迎えたのではないのでしょうか？健康が何よりです。今年も健康に留意され、実り多き秋を家族ぐるみでお迎え下さい。

昨 年は日本中、そして我が家においても明るい年ではありませんでした。今年には本当に良い年があります様にと、祈らずにはいられません。そして、おひさまサラダの誌面が明るい話題でいっぱいなることを願っています。

(訓子府地区・山内スミエさん)

去年はいろいろな出来事があった1年であったと思います。今年こそは、穏やかで平和な1年であってほしいですね。

去 年は就農1年目で、いろいろな出来事で記憶に残る年になりましたが、今年は良い事で進んで行きたいと思います。

(北見地区・井上 竜介さん)

きたみらい管内の大きな出来事は、昨年の降雪。この自然災害は決して忘れることは出来ないと思います。今年は穏やかな天候であってほしいと節に願うものです。

あ けましておめでとうございます。今年1年、良い年になりますように！この冬は雪が少ないと思っていたら、年末年始雪ばかり。毎日、少しずつの雪かきでも体のあちこちが痛くて老いを感じます。

(相内地区・藤澤ひとみさん)

岩見沢地方は毎日のように雪が振り、2葎にも迫る豪雪で、ハウスが倒壊したというニュースも聞かれますが、本当に大変ですね。

読者の声

VOICE

学校給食に

玉葱と馬鈴薯贈呈

一市二町に6.5トン

当JAの西川組合長など6人が2月1日、北見市役所を訪れ、きたみらい産の玉葱3・4トンと馬鈴薯2トンを贈りました。地産地消と食育推進を目指し、学校給食に活用してもらうとプレゼントし、今年で3回目。同市のほか当JA管内の置戸、訓子府両町にも贈りました。

西川組合長は「子どもたちが安全・安心な食材で給食を食べ、地元農業に深い関心を寄せてもらえれば」と期待を寄せていました。南会長は「スノーマーチは煮崩れしにくい特性を持ち、カレーライスなどの給食に最適」と説明。一方、会田会長は「地場のタマネギやバレイシヨを始め、数多くの作物が生産されている。小中学校の食

育授業に取り上げてほしい」と要望。贈られた玉葱などは2、3月中旬に市立保育園や小中学校の給食として使用されます。

また、北見地区農業振興連絡協議会が、北見地方の農業への関心を高めてもらうと食農教育パンフレット「みんなまちのJAきたみらい」を昨年、2万冊作成しましたが、玉葱や馬鈴薯と併せて一市二町に贈呈しました。



▼いっしょに贈呈された食育パンフレット

▲小谷北見市長(左)に目録を手渡す西川組合長

長期安定出荷に努力

きたみらい玉葱振興会

「産消交流会」を開く

きたみらい玉葱振興会は1月17日、北見市内のホテルで産消交流会を開き、安定出荷など消費者の期待にこたえる産地としての役割を確認し合いました。同振興会会員の生産者、市場関係者、加工ユーザー、JA役員など180人が出席しました。

会田貢会長は「近年、降雪や長雨などで悩まされているが、自然と上手に向き合った中で収量増を図り、高品質なタマネギを安定して長期的に市場に届けるのがわれわれ生産者の役割」と呼び掛けました。また、JAの西川組合長は「営農

技術指導の強化や選果体制を充実し、振興会と連携して日本一の産地の責務を果たしたい」と強調しました。

この後、東京や名古屋、滋賀、仙台、福岡各地の市場担当者が実需の現状、他産地や輸入情勢を、加工ユーザーが加工情勢などそれぞれ報告しました。

最後に同振興会の福田裕治青年部長が、青年部として取り組んでいる収量、品質比較試験の結果などを説明しました。



▲市場関係者の報告に真剣に耳を傾ける生産者のみなさん

高品質な

馬鈴薯生産に全力

きたみらい「市場協議会」を開く 馬鈴薯振興会

きたみらい馬鈴薯振興会は1月19日、北見市内のホテルで市場協議会を開き、収量増に向けた取り組みを進め、安定出荷を図るなど消費者の期待に応える産地としての役割を確認しました。同振興会会員の生産者、市場関係者、網走農業改良普及センター、JAきたみらい役員など約90人が出席しました。

馬鈴薯の小玉傾向が続いている。より良い畑作りに努め、心を込めた高品質な馬鈴薯を安定的に市場に届けられるよう本年も頑張ろう」呼び掛けました。

岩手、東京、名古屋各地の市場担当者が実需の現状を、中卸とバイヤーが消費地動向などをそれぞれ報告。株東京青果の菅野敏之係長は「東日本大震災後、消費者は値段よりも安心・安全で高品質な野菜を買い求めている。今後は以前にも増して馬鈴薯の安定供給が求められる」と強調していました。



▲「選果施設の整備と安定出荷にJAも努力する」と挨拶した西川組合長

声をかけあい

農作業事故防止

TPP交渉参加問題も研修

JAきたみらい青年部は1月19日、JAセンター事務所で「部員学習会」を開き、農作業事故防止に向けた取り組みなどを学びました。

中村圭一部長は「きたみらい管内においても近年、農作業事故が右肩上がり傾向。その要因などを知り、事故撲滅に取り組もう」と挨拶。営農振興部の河原部長が「農作業事故防止に向けて」と題して講演。当JA管内における過去4年間の事

故発生状況やその原因、さらに事故防止対策と労災保険の加入状況などを説明しました。

河原部長は「事故が発生すると本人はもとより、家族にも大きな影響を及ぼす。万 one のためにも労災保険やJA共済に加入しよう」と呼び掛けました。

参加した部員は「家族ぐるみで、気をつけよう！」と声をかけあい、農作業事故を防ぎ



▲講師が説明する資料を真剣に見入る部員みなさん

たい」と話してくれました。



北見タマネギ

日清「ラ王」の具材に

「全国キャンペーン」でグランプリ

日清食品㈱（東京）は1月19日、人気カップ麺「ラ王」の新食材を決める全国キャンペーン「麺下分け目の戦い」の最終選考会を東京都内で行い、北見タマネギがグランプリに選ばれました。

地元生産者を始めとした関係者は、「北見タマネギ」をさらに広く知ってもらう機会になると歓喜にあふれています。

最終選考に

7食材ノミネート

このイベントは、ラ王に合う食材を全国47都道府県から探し出す同社と大阪の吉本興業㈱がタイアップし、昨年の9月にスタートしました。道内では12品から選考が進み、昨年10月の北海道地区決戦で北見タマネギが道北代表の利尻昆布を破って北海道代表を勝ち取りました。

19日の最終選考の「全国決戦の儀」には、北見タマネギのほか「辛味噌」（東北代表）、「伊勢海老」（中部代表）、

「トマト」（四国・中国代表）など7つの食材がノミネートされました。7組の担当軍師芸人が各食材のプレゼンテーションを行い、3人の審査員が試食した結果、漫才コンビのトータルテンボスが軍師として推薦した北見タマネギがグランプリに輝きました。

全国のラーメン8000杯を食べ歩いたラーメン評論家の石神秀幸審査委員長は「タマネギがこんなに仕

事をしているのかという存在感があり、たくさんの人に愛される味」と評価しました。

同社は、ラ王のうち「背脂濃コク醤油味」にタマネギが具材として入り、3月から全国一斉に新発売されますが、価格は未定です。

同イベントに協力してきた北見市地場産品高付加価値推進委員会は「北見地方産のタマネギを全国にPRできる絶好の機会」と期待を込めています。

また全国一の生産量を誇り、全国42都道府県126社の青果市場に出荷している当JJAの西川組合長は「加工用タマネギにも多様なニーズに応えるために、生産者とともに取り組んでいる。人気商品ラ王の食材として選ばれてうれしい。生産者農家の大きな励みなる」と喜びを話していました。

なお、2枚の写真とも日清食品㈱からの提供



▲石神審査委員長(中央)からグランプリに「北見タマネギ」と発表され、両手を挙げて喜びを表すトータルテンボス(左の2人)。左の写真は、三重県の「伊勢海老」を推薦し、特別賞(3月に同時発売)を受賞した麒麟(左2人)とグランプリのトータルテンボスのみなさん

第12回 理事会報告

●平成24年1月27日（金）

1月27日、午前9時30分より第12回定例理事会が開催され、報告事項8件、議決事項13件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①内部監査（金融部門無通告監査）報告について
- ②組合員状況報告について
- ③財務状況報告について
- ④平成23年度再建対策農家の収支実績報告について
- ⑤平成23年産玉葱、馬鈴薯の選果状況などについて
- ⑥平成24年産米の目標生産数量配分について
- ⑦生乳生産状況及び個体取引価格状況について
- ⑧平成23年度クミカン精算状況について

【議決事項】

- ①出資増減口及び持分譲渡について
- ②特定事業運営積立金の取り崩しについて
- ③平成25年度職員採用計画について
- ④期末手当の支給について
- ⑤当組合との利益相反取引に係る取扱いについて（H24クミカン貸越極度及び供給限度額）
- ⑥平成24年度理事に対する貯金、共済担保貸付の取扱いについて
- ⑦平成24年度信用の供与などの限度額設定及び貸付金の利率の最高限度について
- ⑧平成24年度1億円を超える信用の供与などの設定について
- ⑨平成24年度監査計画書案（内部監査）について
- ⑩馬鈴薯集出荷貯蔵施設の再編計画について
- ⑪平成24年度事業収支計画（案）について
- ⑫冬期地区別懇談会提出資料内容について
- ⑬理事報酬の配分について

一人ひとりの声が明日のJA創りに

平成24年度に向けた「冬期地区別懇談会」が下記の日程で開催されます。懇談会は組合員皆さんからJAへの要望・意見などをお聞かせいただき、明日のJAに反映させることを目的に開かれるものです。

タマネギの播種作業なども始まりご多忙とは思いますが、一人でも多くの組合員と青年部、女性部、フレミズ、家族皆さんの出席をお願い致します。

記

- 日 程 2月13日(月)～17日(金)までの4日間
- 時 間 午前の部 9時00分から12時00分
午後の部 1時30分から4時30分

日 程	地 区 事 務 所 名	
	午 前	午 後
2月13日(月)	相 内 (2階会議室)	留 辺 薬 (2階会議室)
2月14日(火)	端 野 (2階会議室)	北 見 (センター事務所2階会議室)
2月16日(木)	上 常 呂 (1階会議室)	訓 子 府 (2階会議室)
2月17日(金)	温 根 湯 (2階会議室)	置 戸 (町中央公民館)



▲昨年の2月16日、中央公民館で開かれた置戸地区懇談会

第16回 オホーツク農業新技術セミナー

北見農業試験場などが研究開発した新品種や新技術を速やかに公表し、オホーツク地域の多くの方々に活用していただくため、下記の通り「第16回オホーツク農業新技術セミナー」を開催致しますので、皆様のご参加をお待ちしています。同セミナーでは、新品種や新技術の他、地域におけるトピックスも紹介します。

記

- 日 時 平成24年2月28日（火）
午後1時から4時まで
- 場 所 小清水町多目的研修集会施設(愛ホール)「多目的ホール」
小清水町7区川東 ☎(0152)62-3363
- 入 場 料 無 料
- そ の 他 当場で育成した「はるきらり」で焼いたパンの試食も行う予定です。
- 【お問い合わせ先】
北海道立総合研究機構
北見農業試験場 ☎(0157)47-2146

JA青年部・女性部・フレミズ

総代会のお知らせ

JAきたみらい青年部、女性部、フレッシュミズの第8回総代会が下記の日程で開催されますのでお知らせします。なお、総代会は各組織の代議員によって執り行われます。

記

- 青年部■
○と き 平成24年2月18日（土）午前10時
○と ころ JAきたみらいセンター事務所
2階 大会議室
- 女性部■
○と き 平成24年2月15日（水）午前10時
○と ころ JAきたみらいセンター事務所
2階 大会議室
- フレッシュミズ■
○と き 平成24年2月15日（水）午後1時
○と ころ JAきたみらいセンター事務所
2階 大会議室



【材料：4人前】
 温かいご飯……………800g
 A〔塩……………小さじ1
 ごま油……………大さじ1
 きゅうり……………1本
 ホウレンソウ（ゆでたもの）……………150g
 塩……………小さじ1/6
 ごま油……………小さじ1
 焼き豚……………100g
 カニ風味かまぼこ……………6本
 卵……………2個
 焼きのり……………4枚
 いりごま（白）……………大さじ4

韓国風巻きずし

【エネルギー(1人分あたり) 約545kcal】

【作り方】

- ①キュウリ1本は、縦に4等分する。ホウレンソウは4～5cm長さに切り、水気を搾って、塩小さじ1/6とごま油小さじ1をまぶす。焼き豚は細切りにする。カニ風味かまぼこは2つに裂く。
- ②卵は割りほぐし、砂糖小さじ2、塩少々（各材料外）を混ぜて、いり卵を作る。
- ③ご飯にAを加えて混ぜ、少し冷ます。①②ご飯をそれぞれ4等分する。
- ④ラップを広げ、のりを縦長に置いて、ご飯の1/4量を全面に広げる。ごま油大さじ1を散らす。ラップの上で、裏返し、のりの面を上にする。手前、2cmを空け、①②の1/4をのり巻き要領で並べる。具を覆うようにラップを持って、手前から巻く。残りも同じように巻く。
- ⑤1本をラップごと6～8等分し、ラップを取る。

メモ

日本の巻きずしとの違いは、すし酢の代わりに塩とごま油を使うこと。5種類の材料を巻き込むようですが、手近にあるものを彩り良く使ってみましょう。簡単な上に栄養のバランスも良く、お弁当にも向いています。



【材料：4人前】
 アサリ（砂抜きのもの）……………200g
 ネギ……………小1本
 ニラ……………1束(100g)
 ハクサイキムチ……………100g
 水……………4カップ
 塩・しょうゆ……………各少々
 ごま油……………小さじ1

アサリとニラのスープ

【エネルギー(1人分あたり) 約38kcal】

【作り方】

- ①ネギは粗みじん切りに切る。ニラは4cm長さに切る。キムチは食べやすい長さに切る。
- ②鍋にアサリと水を入れ、火にかける。沸騰したら、あくを取る。キムチを加えて1分ほど煮る。
- ③キムチに塩分があるので、味を見て、塩としょうゆで味を調える。
- ④ネギとニラを加え、ひと煮立ちさせる。ごま油を加えて、火を止める。

メモ

アサリやキムチからおいしいだしが出るので、水で作れるスピード料理。野菜はどのようなものでも合うので、旬のものを取り入れてください。ボリュームをアップしたいときは豆腐を加えましょう。

編集後記

- ・ 昨年の年末からお正月にかけて1日おきの降雪で、ハウスなどの除雪作業に追われましたが、その後は雪も降らず穏やかな日々が続いています。しかし、日本海側を中心に寒波が居座り、毎日の様に雪が降り、特に岩見沢近郊の降雪量は2桁を超え、ハウスが倒壊するまでとなっています。
- ・ オホーツク地域は、降雪量は少ないとしても朝晩の冷え込みがすごく、路面はアイスバーン状態。この様な中、スリップによる単独事故や衝突事故が多発しています。市内の板金塗装工場は、例年を上回る修理車が順番を待っていると聞いています。
- ・ 組合員みなさんもこの冬期間、各生産組織などの会合で車に乗る機会も多いことと思います。是非、時間に余裕を持って、スピードを出さず、早目のブレーキに心がけて安全運転に努めましょう。
 (堀 仁志)

JAきたみらい概要

(平成24年1月20日現在)

- ・ 組合員数(正) 1,835人
- ・ 組合員数(准) 5,967人
- ・ 組合員戸数(正) 1,238戸
- ・ 貯金 103,237百万円
- ・ 貸出金 17,296百万円
- ・ 出資金 5,199百万円